

令和6年度全国高等学校総合体育大会  
第74回全国高等学校アイスホッケー競技選手権大会  
実 施 要 項

|     |                                                                                                                                                                                               |
|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 主 催 | 公益財団法人全国高等学校体育連盟<br>公益財団法人日本アイスホッケー連盟<br>北海道 北海道教育委員会 苫小牧市 苫小牧市教育委員会                                                                                                                          |
| 共 催 | 読売新聞社                                                                                                                                                                                         |
| 後 援 | スポーツ庁 公益財団法人日本スポーツ協会 N H K<br>公益財団法人北海道スポーツ協会 公益財団法人苫小牧市スポーツ協会<br>苫小牧商工会議所 一般財団法人苫小牧観光協会 苫小牧ホテル旅館組合<br>苫小牧 MICE 誘致推進協議会 苫小牧市商店街振興組合連合会<br>一般財団法人地域活性化センター<br>株式会社北海道新聞社 株式会社苫小牧民報社 苫小牧ケーブルテレビ |
| 主 管 | 公益財団法人全国高等学校体育連盟スケート専門部 北海道高等学校体育連盟<br>一般財団法人北海道アイスホッケー連盟                                                                                                                                     |

1 期 日

| 区 分   | 期 日                   |
|-------|-----------------------|
| 開 始 式 | 令和7年1月20日(月) 13:00～   |
| 競 技   | 令和7年1月21日(火)～1月24日(金) |
| 閉 会 式 | 令和7年1月24日(金) 競技終了後    |

2 会 場

| 区 分   | 会 場                                         |
|-------|---------------------------------------------|
| 開 始 式 | nepia アイスアリーナ会議室 13:00～                     |
| 競 技   | nepia アイスアリーナ、ダイナックス沼ノ端アイスアリーナ、新ときわスケートセンター |
| 閉 会 式 | nepia アイスアリーナ                               |

3 競技種目

アイスホッケー競技(男子)

4 競技日程

|        |          |
|--------|----------|
| 21日(火) | 第1回戦     |
| 22日(水) | 第2回戦     |
| 23日(木) | 第3回戦・準決勝 |
| 24日(金) | 決 勝      |

## 5 競技規則

令和6年度公益財団法人日本アイスホッケー連盟（以下「日本アイスホッケー連盟」という）競技規則・規定並びに本大会要項によるほか、公益財団法人全国高等学校体育連盟スケート専門部（以下「スケート専門部」という）規定による。

## 6 競技方法

- （1）トーナメント競技方法により、1位、2位、3位（2校）までを決定する。
- （2）組み合わせ抽選は、参加校代表者、スケート専門部、苫小牧アイスホッケー連盟、実施本部合同での事前抽選とする。
- （3）組み合わせ抽選の際、前回大会1位、2位、3位（2校）の学校をシードとし、地区は考慮しない。

## 7 引率・監督

- （1）引率責任者は、校長の認める当該校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」（学校教育法施行規則第78条の2に示された者）も可とする。但し、当該都道府県会長に申請し承認を得ること。
- （2）監督・コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入することを条件とする。但し、各都道府県における規程があり、引率・監督者がこの基準より限定された範囲内であればその規定に従うことを原則とする。

### 【補足事項】

- ※ 監督と引率責任者は兼任し、当該校の職員とする。
- ※ 引率責任者は、選手の全ての行動に対して責任を負うものとする。

## 8 参加資格

- （1）選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校（中等教育学校後期課程を含む）に在籍する生徒であること。但し、休学中、留学中の生徒は除く。
- （2）選手は各都道府県高等学校体育連盟に加盟している学校の生徒で、各都道府県アイスホッケー連盟を通じて（公財）日本アイスホッケー連盟に登録された者であること。
- （3）年齢は平成17年(2005年)4月2日以降に生まれた者とする。但し、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。（「出場」とは登録やエントリーではなく、試合への出場回数をさし、専門部が責任を持って調整・確認する。）  
大会参加資格を満たし、日程等が重ならない場合は複数競技への参加を認める。
- （4）チームの編成において全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
- （5）複数校合同チームの大会参加は、複数校合同チーム参加ガイドラインの編成基準を満たしているチームの参加を認める。
- （6）転校・転籍後6ヶ月未満の者は参加を認めない。（外国人留学生もこれに準ずる）但し、一家転住などやむを得ない場合は、各都道府県高等学校体育連盟会長の許可があればこの限りではない。  
大会開始前のエントリー変更期限前6ヶ月が経過し出場資格が発生した場合、団体競技種目や団体戦では、エントリー変更のルールがある場合にはそのルールに従って変更を認める。
- （7）出場する選手はあらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長及び所属高等学校体育連盟会長の承認を必要とする。

## (8) 参加資格の特例

- ア 上記の(1)(2)に定める生徒以外で、大会参加資格を満たすと判断され、かつ都道府県高等学校体育連盟が推薦した生徒について、別途に定める規程に従い大会参加を認める。
- イ 上記(3)のただし書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は同一競技3回までとする。

### [大会参加資格の別途に定める規程]

- 1 学校教育法第72条、115条、124条及び134条の学校に在籍し、都道府県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。
- 2 以下の条件を具備すること。
  - (1) 大会参加を認める条件
    - ア (公財)全国高等学校体育連盟の目的を理解し、それを尊重すること。
    - イ 参加を希望する特別支援学校、高等専門学校、専修学校にあつては、学齢、修学年限とも高等学校と一致していること。また、広域通信制連携校の生徒による混成は認めない。
    - ウ 各学校にあつては、都道府県高等学校体育連盟の予選会から出場が認められ、全国大会への出場条件が満たされていること。
    - エ 各学校にあつては部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失うことなく、運営が適切であること。
  - (2) 大会参加に際し守るべき条件
    - ア 全国高等学校総合体育大会開催基準要項を遵守し、競技種目別大会申し合わせ事項等に従うとともに大会の円滑な運営に協力すること。
    - イ 大会参加に際しては、万一の事故の発生に備えて傷害賠償責任保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
    - ウ 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

## 9 参加制限

- (1) 申し込み選手のほか、監督1名、コーチ1名、トレーナー1名以内とする。但し、チーム事情によりトレーナー1名をコーチとしてもよい。
- (2) 各ブロックで予選を行い、代表校を決定する。出場校は各ブロックからの代表26校と開催地推薦校最大2校(北海道ブロック8校、東北ブロック5校、関東ブロック8校、北信越・東海・近畿ブロック4校、中国・四国・九州ブロック1校)を加えたチームとする。
- (3) 1学校1チーム若しくは合同チームガイドラインに則ったチームとし、1チーム競技出場者はゴールキーパー1名以上2名以内を含めて22名以内とする。但し、試合開始時に最低5名のスケーターと1名のゴールキーパーを氷上に送り出すことが出来なければならない。
- (4) 選手はフェイスマスク(全面を覆うもの)、ネックガード、マウスピースを着用すること。
- (5) 外国人留学生については競技出場2名以内とする。

## 10 参加申込

### (1) 申込期限

ア 原本の送付については、令和6年12月24日（火）消印有効

イ 但し、データ送信については、次の通りとする。

(ア) 都道府県別申込、学校別申込、アイスホッケー競技申込

令和6年12月24日（火）

(イ) 宿泊申込

令和6年12月24日（火）（北海道以外の代表校）、18日（水）（北海道代表校）

### (2) 申込先

〒053-0035

北海道苫小牧市字高丘6番地22 北海道苫小牧工業高等学校内

第74回全国高等学校アイスホッケー競技選手権大会 事務局 宛

TEL 0144-36-3161

FAX 0144-36-3166

e-mail onozaki17@hokkaido-c.ed.jp

### (3) 申込方法

ア 各都道府県申込責任者は参加校の関係書類（様式4～様式7の必要な書類）を確認の上、

大会ホームページ（<http://www.tomakou.hokkaido-c.ed.jp/>）より書類

（様式1～様式3）をダウンロードして下記書類を作成し、所属高等学校体育連盟会長を経由して送付すること。同時に入力済み書類（様式1～様式3）のエクセルファイルを電子メールにて添付送信すること。

様式1 申込送付書及び送金確認書

【郵送】及び【データ送信】

様式2 都道府県選手団申込一覧表

【郵送】及び【データ送信】

様式3 都道府県選手団役員等来会連絡票

【郵送】及び【データ送信】

イ 各参加校は大会ホームページ（<http://www.tomakou.hokkaido-c.ed.jp/>）より

各申込用ファイル（学校別申込用、アイスホッケー競技出場申込書）をダウンロードして、必要な書類を作成し、各都道府県申込責任者に提出すること。同時に各参加校は、各申込用ファイル（学校別申込用、アイスホッケー競技出場申込書）およびプログラム掲載用写真を電子メールにて添付送信すること。

(ア) 学校別申込ファイル

様式4 学校別参加申込書

【郵送】及び【データ送信】

(イ) アイスホッケー競技申込ファイル

様式5 アイスホッケー競技出場申込書

【郵送】及び【データ送信】

様式6, 7 アイスホッケー競技宿泊申込書

【データ送信（事務局と配宿業者）】

様式8 組み合わせ抽選会議参加確認用紙（委任状）

【郵送】及び【データ送信】

※ 北海道代表校以外12月24日（火）まで、北海道代表校12月18日（水）まで。

◎ プログラム掲載用写真（チーム写真）

【データ送信】横jpg形式

- ウ 参加料、プログラム代金及び大会報告書代金の送金は銀行振込とし、銀行で発行された振込金受領書のコピーを必ず申込用紙の所定の欄に貼付すること。
- エ 送金の際には、実施本部が指定した口座に電信扱いで振り込むこと（振込手数料は申込者の負担とする）また、送金依頼人名は専門部を設置する都道府県について都道府県名がわかるように、それ以外については県名及び学校名がわかるよう（個人名にしない）にすること。なお、実施本部からは、各参加校に参加料・プログラム代金等の領収書は発行しない。
- オ 申込書類の送付は、発送記録が残る方法（書留等）で行うこと。
- カ 申込期限に遅れたもの、申込書類に不備があるものは受け付けない。

## 1 1 料金

### （1）参加料

ア 1チーム 45,000円

イ 申込と同時に納入すること。申込後は参加の取り消しがあっても返金はしない。

ウ 振込先

|     |                       |           |             |
|-----|-----------------------|-----------|-------------|
| 振込先 | 指定銀行                  | 北洋銀行      | 苫小牧北支店      |
|     | 口座                    | 店番 022 普通 | 口座番号 425783 |
|     | 高体連当番校会計 北海道苫小牧工業高等学校 |           |             |
|     | 代表 小山 彰博              |           |             |

### （2）プログラム

ア 参加校に1部無償配付する（監督会議時に配付）。その他は1部1,500円で販売する。

イ 代金は参加申込と同時に納入すること。

### （3）大会報告書

ア 競技成績が掲載されている大会報告書を希望する学校は、参加申込と同時に申し込むこと。

イ 1部2,000円（送料含む）の代金は、申込と同時に納入すること。

## 1 2 表彰

- （1）優勝校には、（公財）全国高等学校体育連盟会長杯、文部科学大臣杯、（公財）日本アイスホッケー連盟会長杯（以上持ち回り）、NHK杯及び読売新聞社杯を授与する。
- （2）優勝校の各選手に賞状と優勝メダルを授与する。
- （3）準優勝校の各選手に賞状と準優勝メダルを授与する。
- （4）3位（2校）の各選手に賞状と入賞メダルを授与する。

## 1 3 宿泊

宿泊については、「宿泊要項」による。

## 1 4 輸送

輸送については、「輸送要項」による。

## 1 5 医療救護

医療救護については、「医療救護要項」による。

## 1 6 諸会議

|      | 日 時               | 会 場              |
|------|-------------------|------------------|
| 抽選会議 | 令和7年1月6日（月） 13時～  | 北海道苫小牧工業高等学校会議室  |
| 監督会議 | 令和7年1月20日（月） 14時～ | nepia アイスアリーナ会議室 |

## 1 7 組合せ

- （1）抽選会議を令和7年1月6日（月）13時から、北海道苫小牧工業高等学校会議室において開催する
- （2）参加校は別紙「組合せ抽選会議参加確認用紙」を令和6年12月24日（火）まで事務局に電子メールで送信、委任状原本は郵送すること。

## 1 8 個人情報及び肖像権に関わる取り扱いについて

個人情報及び肖像権に関わる取り扱いについては、「第74回全国高等学校アイスホッケー競技選手権大会における個人情報及び肖像権に関わる取扱いについて」による

## 1 9 連絡事項

- （1）諸事情により不参加が決定した学校は、速やかにその旨を FAX または電子メールで実施本部に連絡すること。
- （2）各校の公開練習時間は、実施本部で割り当てる。
- （3）貴重品の管理については、各自の責任において行うこと。

## 2 0 事務局

令和6年10月1日（火）から

〒053-0035

北海道苫小牧市字6番地22 北海道苫小牧工業高等学校内

第74回全国高等学校アイスホッケー競技選手権大会 事務局

担当 小野崎 優

TEL (0144) 36-3161 FAX (0144) 36-3166

e-mail onozaki17@hokkaido-c.ed.jp

ホームページ <http://www.tomakou.hokkaido-c.ed.jp/>

令和6年度全国高等学校総合体育大会  
第74回全国高等学校アイスホッケー競技選手権大会  
輸 送 要 項

1 目 的

この輸送要項は、令和6年度全国高等学校総合体育大会第74回全国高等学校アイスホッケー競技選手権大会に参加する選手、監督・コーチ・トレーナー、役員、視察員、報道関係者及びその他大会関係者の輸送について、基本的な事項を定めるものとする。

2 各都道府県から集合及び解散後の輸送

- (1) 大会参加者の集合及び解散後の輸送については特別な措置はしないので、列車等の公共の交通機関を利用することを原則とする。
- (2) 自家用車及びバス等を利用する場合、路面の凍結及び積雪等によるスリップ事故等の交通事故を防止するため、必ずスタッドレスタイヤを装着し万全の準備をすること。

3 会期中の輸送

- (1) 選手・監督・役員・視察員及び報道関係者の計画輸送は行わない。
- (2) 宿舎と競技会場間は、路線バスかタクシーを利用する。
- (3) JR苫小牧駅から競技会場への料金は概ね次のとおりである。

| 区間                    | 交通手段     | 時間   | 料金（片道） |
|-----------------------|----------|------|--------|
| 苫小牧駅～nepiaアイスアリーナ     | タクシー（小型） | 約5分  | 550円   |
|                       | 路線バス     | 約5分  | 230円   |
| 苫小牧駅～ダイナックスアイスアリーナ    | タクシー（小型） | 約15分 | 3,000円 |
|                       | 路線バス     | 約25分 | 490円   |
| 苫小牧駅～<br>新ときわスケートセンター | タクシー（小型） | 約15分 | 2,800円 |
|                       | 路線バス     | 約25分 | 390円   |

4 車両表示及び駐車場

- (1) 監督、役員、報道関係者等大会関係者の車両については、北海道実行委員会大会事務局で発行した車両証明証を必ず駐車場で表示すること。
- (2) 各競技場で駐車場を利用する場合は、必ず指定された駐車場、駐車スペースを利用し、駐車禁止区域には絶対に駐車しないこと。また、進入方法、ゲート等も施設等の指示に従うこと。
- (3) 輸送についての問い合わせ

〒053-0035

北海道苫小牧市字6番22 北海道苫小牧工業高等学校内

令和6年度全国高等学校総合体育大会

第74回全国高等学校アイスホッケー競技選手権大会事務局

TEL 0144-36-3161 FAX 0144-36-3166

メールアドレス onozaki17@hokkaido-c.ed.jp

令和6年度全国高等学校総合体育大会  
第74回全国高等学校アイスホッケー競技選手権大会  
医 療 救 護 要 項

1 目 的

この医療救護要項は、令和6年度全国高等学校総合体育大会第74回全国高等学校アイスホッケー競技選手権大会に参加する選手・監督・コーチ・トレーナー、役員・視察員・報道関係者等の医療及び救護について、基本的事項を定めるものとする。

2 方 針

令和6年度全国高等学校総合体育大会第74回全国高等学校アイスホッケー競技選手権大会北海道実行委員会は、医療機関、医師会、保健所、消防署等と相互に連絡調整等を行い、関係機関の協力を得て業務を推進し、大会の円滑な運営を図るものとする。

3 救護所の設置

- (1) 大会期間中、競技開始から終了時まで各競技会場に救護所を設置する。
- (2) 競技中の疾病、傷害等の応急処置は主催者側で行うが、その後の責任は負わない。

4 救護所以外における医療

- (1) 競技会場における練習等の場合
  - ア 練習時間等において負傷、発病した場合は、監督・引率責任者は競技会場の係員等に申し出、責任を持って対処する。
  - イ 救急車の要請が必要な場合は、監督・引率責任者は競技会場の係員等に申し出、必要に応じて会場施設管理事務所に通す。
- (2) 宿舎で発病した場合  
監督・引率責任者は宿舎に申出とともに、医療機関等へ連絡し、必ず関係者が付き添い受診する。
- (3) 救急車の要請  
4の(1)、(2)において、重傷(重病)と思われる場合は、関係者が直接「119」番で救急車を要請する。なお、後刻、傷病の状況を北海道実行委員会大会事務局に連絡する。また、宿舎等から直接受診した場合も、同様の対応とする。

5 医療機関での受診方法

各種健康保険の被保険者等の資格証「健康保険証」を提示し受診すること。また、独立行政法人日本スポーツ振興センター加入者は「医療等の状況」の用紙を持参する。

6 医療費等の負担

- (1) 医療機関等での診療に要する費用は、すべて受診者の負担とする。また、「健康保険証」の提示がない場合は全額自己負担となるので注意すること。
- (2) 救急車以外の車両を使用し、医療機関を受診する際にかかった交通費は、受診者が負担する。
- (3) 大会参加者は大会期間中を通し、万一の事故に備えて傷害・賠償責任保険に加入しておくなど万全の事故対策を講じておくこと。

7 参加生徒等の健康状況把握について

監督・引率責任者は、引率するすべての参加生徒の健康状況を把握し、救護所や医療機関で医師等に正確に伝えられるようにしておく。(特にアレルギー、心臓疾患、その他既往症の有無等)

8 医療機関の案内

- (1) 競技会場では、救護所及び会場係員等が医療機関の紹介をする。
- (2) 宿泊施設では、フロントで最寄りの医療機関の紹介をする。



9 救護所に備えてある書類

(1) 受診依頼書

(2) 独立行政法人日本スポーツ振興センター提出用

ア 医療の状況等 ①病院用(入院用・入院外用) ②整骨院用 ③調剤用

10 その他

(1) 大会期間中に起きた傷病については「(公財)全国高等学校体育連盟傷病見舞金規定」及び「傷病見舞金審査基準に関する申し合わせ事項」を参考にすること。